

大分県 日田市

# 三隈中学校



|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 所在地   | 大分県日田市亀川町                    |
| 創立／設立 | 昭和36年(1961年) 3月<br>創立 築44年経過 |
| 建物概要  | 校舎 鉄筋コンクリート造<br>(RC)3階建て     |
|       | 体育館 鉄骨造平屋                    |
|       | 柔道剣道場 鉄骨造平屋<br>建て<br>屋上プール   |

(全校生徒を収容できない体育館)  
卒業式などが行える大きな体育館が欲しい。

従来の建替えにより仮校舎建設等でグラウンドが使用出来なくなるのは避けたい。

**ローリングミラクル構法  
で解決！**

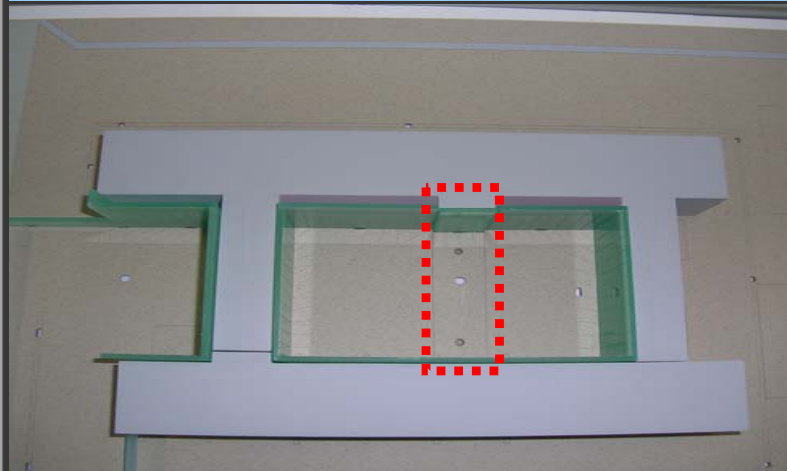
特許登録 第4012197号

## ■ 模型による施工手順

既存校舎棟



① 既存の中央渡り廊下撤去



## ■ 実際の写真

既存校舎棟



① 既存の中央渡り廊下撤去



## ■ 模型による施工手順

### ② 既存渡り廊下を跨り校舎棟新設



## ■ 実際の写真

### ② 鉄骨建方



## ■ 模型による施工手順

## ■ 実際の写真

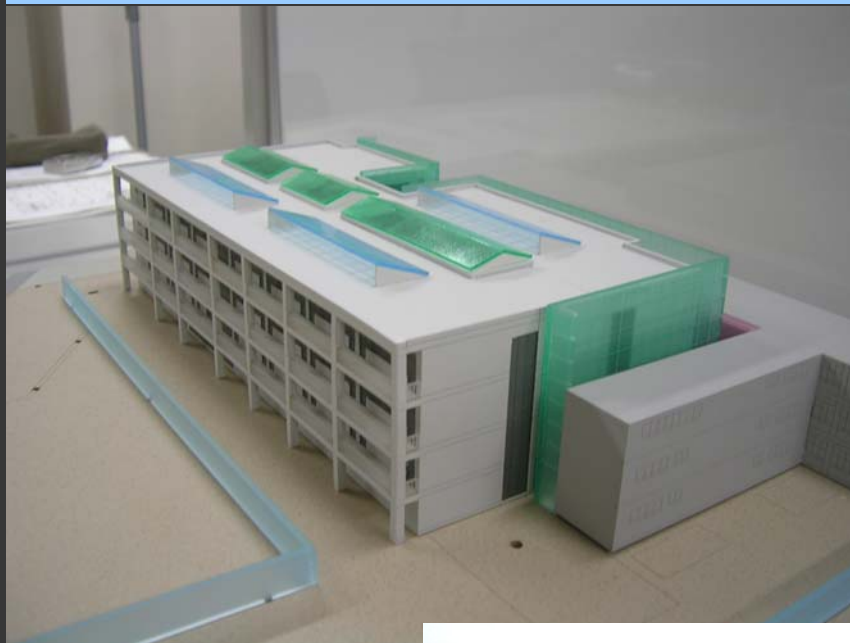
### ③ 既存校舎棟(北棟)撤去



## ■ 模型による施工手順

## ■ 実際の写真

### ④ 校舎棟(北棟)撤去後に1階から3階新設



20年2月現在の写真

北西から



20年2月現在の写真

南側





平面図 立面図 写真 による 説明

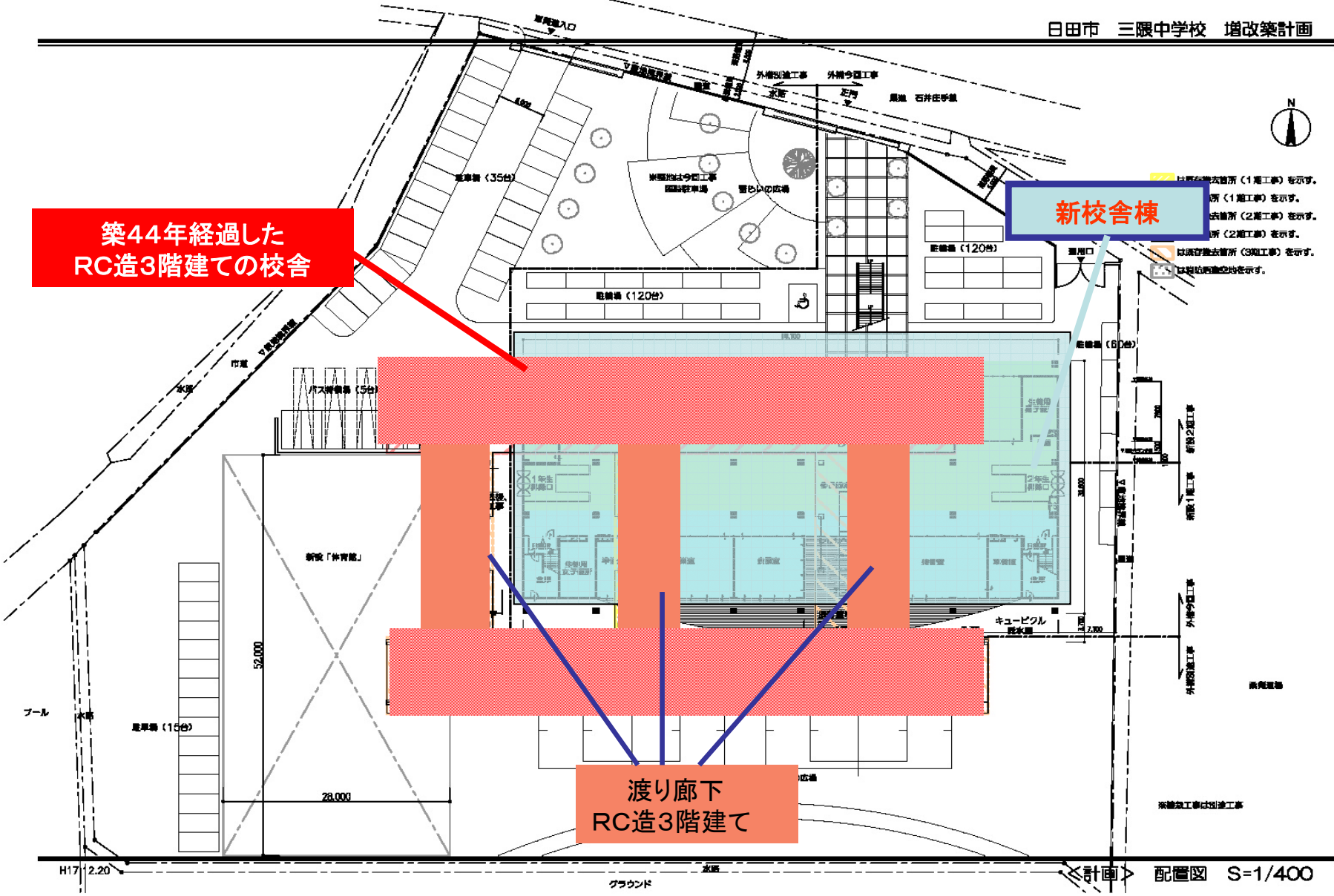


築44年経過した  
RC造3階建ての校舎

新校舎棟

渡り廊下  
RC造3階建て

は既存撤去箇所（1期工事）を示す。  
は新築箇所（1期工事）を示す。  
は既存撤去箇所（2期工事）を示す。  
は新築箇所（2期工事）を示す。  
は既存撤去箇所（3期工事）を示す。  
は増設駐車スペースを示す。



H17 2.20

グラウンド

# 中央渡り廊下を解体撤去



# 鐵骨建方





(第3種郵便物認可)

もっと身近に 地域のニュース

## 特殊設計技術を導入

日田市隼川町の三隈中学校で、現校舎を鉄骨で覆う形で新校舎建設を進める特殊設計技術「ミラクル構法」の外観が姿を現した。仮校舎不要、工期短縮、大幅コスト削減と、一石三鳥の優れたもので、大型建築物では全国でも初導入。市教委に問い合わせなどが殺到している。

市教委によると、現に残り半分を建設し、校舎(平行する南北2回線に南校舎建設の棟、3階建て)が老朽引越越し、解体を繰り返し、体育館も手狭な返す。

7月に着工し、08年1月完工予定。総事業費は12億1100万円。仮校舎を設ける従来の工事と違い、生徒は現校舎、運動場で授業を継続でき、工期の2カ月短縮、約2億円の建設コスト削減効果があるという。

外観が姿を現し、14日に大阪府大東市役所が視察。12月2日に日

日田市隼川町の三隈中学校で、現校舎を鉄骨で覆う形で新校舎建設を進める特殊設計技術「ミラクル構法」の外観が姿を現した。仮校舎不要、工期短縮、大幅コスト削減と、一石三鳥の優れたもので、大型建築物では全国でも初導入。市教委に問い合わせなどが殺到している。

【福原義典】

### 日田・三隈中 "一石三鳥"の優れたもの 新校舎建設

本建築学会、日本建築構造技術者協会などが、などから相次いで問い合わせや視察殺到

問い合わせや視察殺到



現校舎に新校舎の鉄骨をかぶせた三隈中の全面改築工事

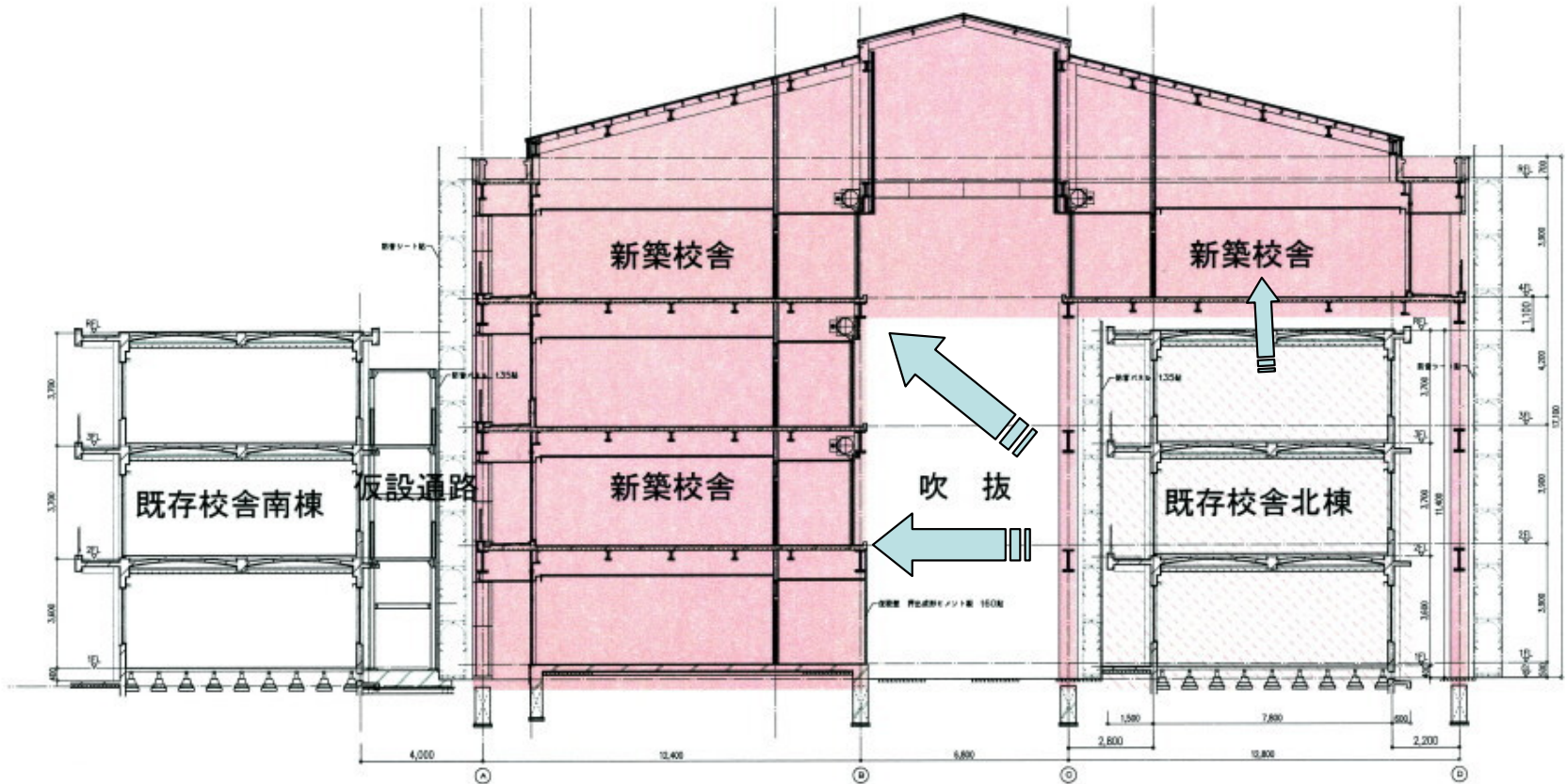
仮校舎不要 工期短縮 コスト削減



# 新毎日

発行所：北九州市小倉北区船場町13-1 平802-8651 電話(093)541-3131  
 郵便番号：01750-11038(福岡)  
 毎日新聞西部本社 福岡本部  
 〒810-8551 電話(092)781-2121

新築校舎S造4階建て完成



平成19年2月に新築1期竣工。

既存校舎北棟から新築校舎へ移動

読売新聞(九州) 2007年3月24日(土) 掲載

ミラクル構法で  
建設が進む中学校



夕刊

# 読売新聞

2007年(平成19年) 3月24日 土曜日

発行所  
読売新聞西部本社  
第15170号

〒810-8581  
福岡市中央区赤坂1-16-5  
電話 (092)715-4311(代)  
<http://www.yomiuri.co.jp/>



古い校舎をすっぽり包み込むように新校舎を建てた後、古い校舎を解体するユニークな工事が大分県日田市の三隈中で進んでいる。仮設校舎の建設や一時的な移転が不要で、工期の短縮にもつながるといふ。

## 頭上から新校舎

日田でユニーク工法

側面古い校舎にかぶさるようにして建設した後、古い校舎を解体。1・3階部分を新築する。

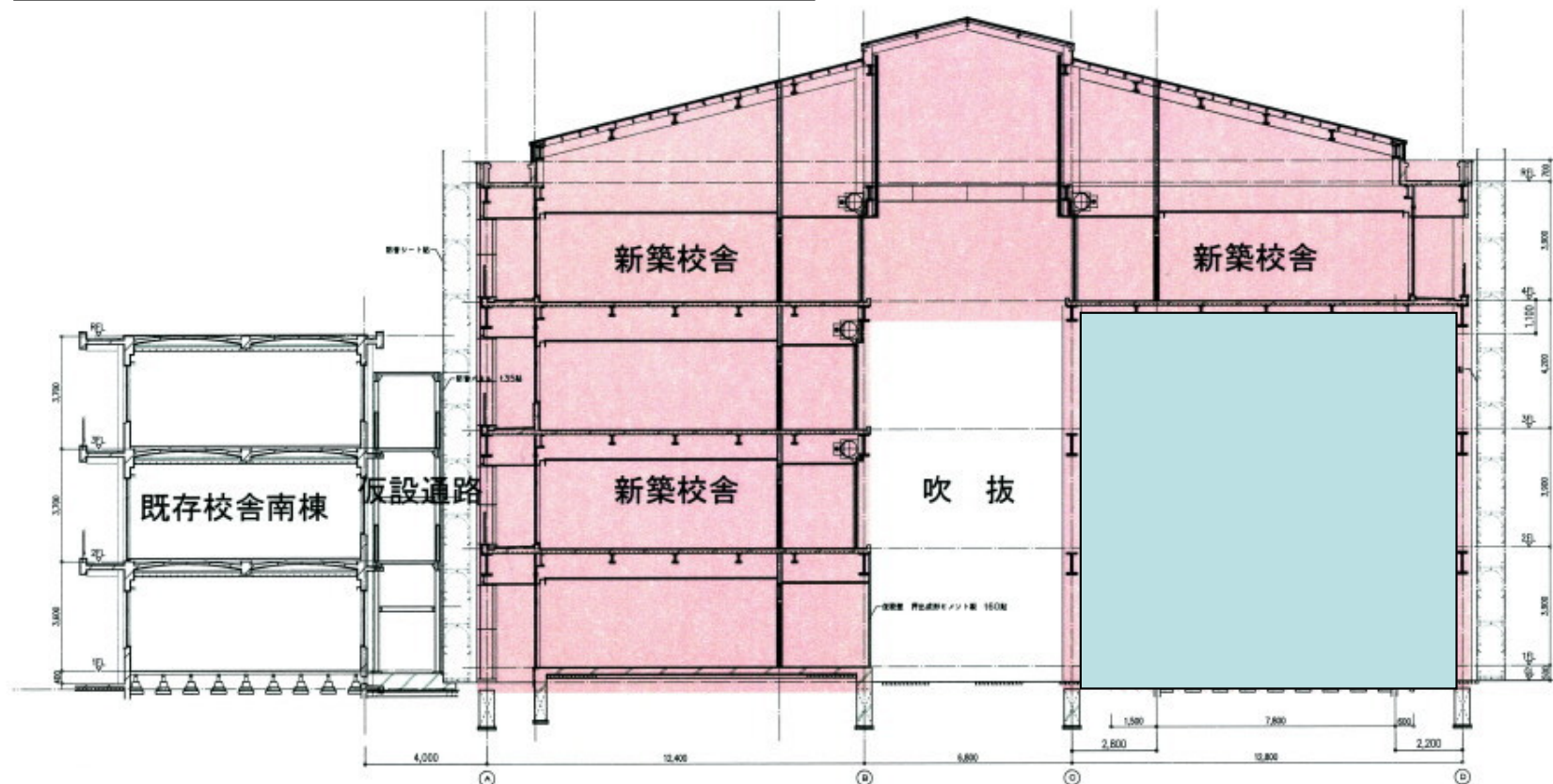
工事は防音壁で覆いながら進められており、授業が行われている古い校舎への騒音の影響はさほどないといふ。

昨年夏に着工。総事業費約12億1000万円。工事完了は来年2月。日田市教育委員会は「工期も約2か月短縮、建設費も約2億4000万円が節約できる」と話している。

3階建て校舎(手前)の上突き出しているのが4階建て新校舎の一部(20日、本社へリから)―板山康成撮影



## 新築校舎棟と既存校舎南棟で授業



校舎北棟解体撤去し1階～3階を新築







# ■ 完成パース





## ミラクル構法採用に際し5大特長『抜粋』

1. 仮設校舎設置費約9,600万円縮減。
2. 仮設校舎を設置しない為、従来の方法では20ヶ月使用できない「運動場」が通常通り利用できる。また、生徒に与える環境変化が少なく、引越しも1度で終わる。
3. 鉄骨構造による工期の短縮、基礎の軽減が図れ、一棟型中廊下式の採用により、約6,500万円の工事費が縮減される。
4. 従来の方法では2年・3年の在校生が新校舎に入れないうまま仮設校舎で卒業していたが、ミラクル構法(鉄骨構造)採用により、2年生はもちろん3年生についても卒業前に新校舎に入れる。
5. 一棟型中廊下式の採用により運動場と新校舎の間のスペースが広くなり第2運動場などとしての利用が図れる。

お問合せは

株式会社みらい  
電話番号 0742-36-6311